

No 29  
31 Oct. 2010

日本・パプアニューギニア協会会報

# ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成22年10月31日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL 03-5216-3555 FAX 03-5216-3556

## パプアニューギニア独立35周年記念祝賀会

中久喜 勉  
(当協会会員)



平成22年9月16日、午前中の厳しい風雨が治まった午後6時、ホテルニューオータニ鶴東の間において、「パプアニューギニア独立35周年記念祝賀会」が内外多数のご臨席のもと、パプアニューギニア大使館の主催で盛大に行われました。

はじめにデニス・ベベコ駐日大使代理から日本とパプアニューギニアの過去・現在の友好関係と未来に続く発展への期待が述べられました。つぎに、来賓を代表して西村智奈美外務大臣政務官から両国関係の益々の緊密化の醸成が重要であることが述べられました。

その後祝宴に移り、南太平洋からのマグロをはじめとした素晴らしい海産物や心のこもった美味しいお料理に舌鼓を打ちました。

折から外務省危険度情報の1から2への引き上げに伴う日パ交流関係の減少、特に観光の制限に対する問題等がテーブルのあちこちで話されておりました。パプアニューギニアの美しい自然と温かい笑顔の人々との触れ合いの思い出が、そこかしこに浮かんでいるような雰囲気でご

ざいました。

また液化天然ガスプロジェクトの成功により、資源の少ない日本にとってのエネルギー獲得への期待のお話、そして、ここでも今後の企業進出への危険度情報引き上げの影響がささやかれておりました。この危険度情報引き上げ問題が、今後の交流に大きな影響を及ぼすことになるかと思われませんが、ここにお集まりいただいた方々の叡智と情熱により解決されるものであると確信いたします。と同時に、パプアニューギニアと日本の友好関係の醸成のために、国と国との外交関係のほかに、草の根外交として何ができるのだろうか、何をすればいいのだろうか、一人ひとりが考えて行動することが大切なのではないかと考えました。

たくさんの方々との触れ合いの喜びと、おいしいお料理に膨らんだお腹と一緒に、両国関係がさらに発展していくことを祈りながら茨城までの帰途につきました。このような機会を得られましたことに深く感謝いたしますとともに、さらに多くの方々の参加が得られますことをお祈りいたします。

# 理事会

2010年6月21日、霞山会館(東京都港区)にて、当協会  
理事会が開かれました。

山下会長をはじめ、12名の理事が出席し、2009年度活  
動報告、決算報告および承認、2010年度活動計画、予算  
案審議および承認、役員および理事の承認がなされました。



## 平成22年度 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会 役員一覧

- 名誉顧問 大河原 良雄(財団法人世界平和研究所理事長、元駐米日本国大使)  
名誉顧問 マイケル・マウエ(パプアニューギニア外務省次官、前駐日パプアニューギニア特命全権大使)  
名誉顧問 (駐日パプアニューギニア特命全権大使)  
顧問 堀江 正夫  
(東部ニューギニア戦友・遺族会会長、元参議院議員、元日本・パプアニューギニア友好協会会長)  
日本・パプアニューギニア友好議員連盟の諸先生  
[代表 村田吉隆(衆議院議員 日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長)]
- 会長(理事) 山下 勝男(財団法人霞山会理事兼事務局長、元駐パプアニューギニア日本国大使)  
副会長(理事) 唐沢 敬(立命館大学名誉教授、東京国際大学特命教授)  
副会長(理事) 鈴木 紀久代(新潟パプアニューギニア協会 事務局長)  
副会長(理事) 高松 裕満(協和海運株式会社 代表取締役社長)  
名誉顧問(理事) 谷口 誠(桜美林大学北東アジア総合研究所特別顧問、元駐パプアニューギニア日本国大使、元日本国国連大使)  
理事 馬詰 修(三高物産株式会社 代表取締役)  
理事 大沼 京三(株式会社日本墓苑開発センター 代表取締役)  
理事 賀集イレーネ(アルゼンチン共和国弁護士)  
理事 川口 正義(旭化成建材株式会社 海外事業室 室長、日本旅行作家協会会員)  
理事 長 宏行(財団法人オイスカ 国際協力部 部長)  
理事 都梅 博之(伊藤忠商事株式会社プラント・プロジェクト第2部 部長)  
理事 中村 弘(晃和木材株式会社 前代表取締役社長)  
理事 原 晃(JICA)  
理事 福島 正光(株式会社ピーエムコーポレーション 代表取締役)  
理事 古川 雅彰(晃和木材株式会社 代表取締役社長)  
理事 武藤 優(株式会社パプアニューギニア海産 代表取締役)  
理事 村越 裕之(コスモメディア株式会社 代表取締役)  
理事 山邊 登(有限会社 PNG ジャパン 代表取締役社長)  
監事 土屋耕太郎(土屋法律事務所 弁護士)  
顧問弁護士 中村 哲朗(小川総合法律事務所 弁護士)  
事務局長(理事) 島田 謙三(ニューギニア航空 日本支社長)

# 総会、懇親会に参加して

国政 征紹 (当協会会員、青年部アドバイザー、法大通教法学部4年)

はじめまして。私は、現在、法政大学通信教育部法学部法学科4年生で、青年部のアドバイザーをさせていただいております。今年の3月までは陸上自衛官でしたが、新たな道を模索するため退職し、様々なことを学び直している最中です。

そんな訳で時間に余裕のある私は、6月21日(月)、霞山会館にて行われた総会・懇親会に参加することができました。

総会での第一印象は、先輩諸兄が多いなと感じたことです。若い世代は仕事もあり、私のように時間に余裕のある方は殆どおられないでしょうから、致し方の無いことかとも思いました。私も来年以降は参加できるかどうか、怪しい身ですから……。

さて、総会での報告はといいますと、普段、活動として耳にしていることの確認的要素が強く、堅実な活動をしているなといった印象を受けました。が、欲を言えば、若い世代を中心とした活動報告がもっと増えてもよいのではないだろうかとも感じました。つまり、青年部の活動がもっと増えるべきなのだろうと感じたことです。

本年度の事業としては、青年部からの要望も何件か取り上げていただいております。今後の大学生を中心とした活動が期待されます。

このような活動を通して未来を見据えれば、PNGをはじめとする南太平洋諸国とは、益々連携を深め、相互協力の枠を拡大していく必要があると私は考えています。そのためには、先輩諸兄の思いが若い世代に引き継がれる必要があると思いますので、この場をお借りして、先輩諸兄の青年部の勉強会等への参加をお願いしたいと思います。

連絡は、下記に記載してあります青年部のブログを確認していただいて、青年部の活動へ直接参加していただくか、事務局を通じて連絡していただくか、どちらかの形になる

と思いますが、よろしくお願いいたします。

さて、話をもとに戻しますと、総会は滞りなく終了し、懇親会に移りました。普段、話す機会を持つことのないような方々との会話は、いろいろと勉強させられることが多く、有意義な時間を過ごさせていただいたと思っています。

とくに前会長のご挨拶は、年齢を感じさせることのない素晴らしいものであり、私も年を取ったらこうありたいと、ある種の感動を覚えました。

今回は、全ての方と話をすることはできませんでしたが、これからも当協会を通して、様々な人と繋がっていければ良いと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

JPNG青年部ブログ：<http://jpngyouth.blog134.fc2.com>

※こちらのアドレスは、携帯またはパソコンからアクセスできます。



写真提供：スギ☆カナ

日本・パプアニューギニア協会  
法人会員紹介 第22回

「みなさん、こんにちは」

NPO法人 山本元帥景仰会です。

〒940-0065 新潟県長岡市  
坂之上町2-1-1 長岡商工会議所内

TEL0258-32-4500

FAX0258-34-4500

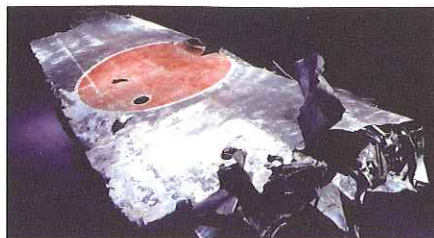
平和のシンボル「翼」をとおして  
「人間：山本五十六」を伝えています

山本元帥景仰会は、長岡市出身の旧日本海軍連合艦隊司令長官：山本五十六元帥の遺徳を顕彰することを目的に発足した団体です。現在は、特定非営利活動法人に組織が変わり、「人間：山本五十六」を紹介する山本五十六記念館の運営・展示をとおして、地域文化の振興や国際協力活動を行っています。

第8回

PNG 独立記念ゴルフトーナメント  
パプアニューギニア大使館

2010年9月11日(土)、21センチュリークラブ富岡ゴルフコース(群馬県富岡市)にて恒例の「パプアニューギニア独立記念ゴルフトーナメント」が



郷里長岡に里帰りした山本長官搭乗機の左翼

山本五十六記念館には、山本長官が搭乗し、パプアニューギニア国(以下PNG)ブーゲンビル島に墜落した一式陸上攻撃機の「左翼」が展示されています。

山本元帥景仰会とPNGとの交流は、1984年(昭和59年)2月、山本元帥生誕100周年を機に山本元帥殉難地巡拝団を同国に派遣したことが始まりでした。巡拝団の帰国後、郷里長岡では「山本長官搭乗機里帰りプロジェクト」が立ち上がります。PNGの現地事情もあり、里帰りの交渉は難航しました。しかし、足掛け5年、地道に築かれた信頼関係と、両国の多くの人々のご理解とご協力により、1989年(平成元年)山

開催されました。

当日はお天気に恵まれ(恵まれすぎ?)、熱戦が繰り広げられました。本年度の優勝者は、大神田正文様に輝き、PNG大使杯を受賞、PNG本国製純銀キーホルダーとマネークリップを贈呈されました。

本長官機の左翼が長岡に里帰りしました。

その後、PNGとの友好の証として、長岡に伝わる米百俵の精神を基に、「平成の『米百俵』パプアニューギニア版」の「山本ココポ基金」をPNG国内の銀行に創設し、山本長官機が墜落したブーゲンビル島の子供たちの教育を支援しています。

また、山本記念館では、青少年の平和教育の一環として、山本五十六の平和への願いを伝える展示を長岡市内の子供たちにも見てもらうため、入館料の減免制度も備えています。次代を担う青少年に、平和の尊さ、大切さを感じ取っていただければと思っています。

長岡にお越しの際は、ぜひ山本五十六記念館へお立ち寄りいただき、「人間：山本五十六」の生涯をじっくりとご覧いただければ幸いです。



左 / 優勝された大神田正文様とベベゴ大使代理  
写真提供 / 21 センチュリークラブ富岡ゴルフコース様



事務局からのお知らせ

\* 橋廣治新大使が9月25日にパプアニューギニアに赴任されました。がんばってください! 期待しています! 西山肇前大使、長い間、ありがとございました!

\* 平成22年度の会員名簿をお送りします。

この名簿には、記載希望者のみが掲載されており、隔年で更新し配布しています。

\* パンフレット、リーフレットなど配りたいものがございましたら、事務局まで送

ってください。「ごらくちょう」郵送時に同封します。その際、事前に事務局までご相談ください。

編集後記

PNGが35歳。人間でいうところの油がのってきたという年齢でしょうか。羽ばたけ! PNG! 佐藤直子

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では随時会員を募集しております。お問い合わせにぜひお声をかけて下さい。  
会員数 2010年9月末 \* 法人会員 / 23 \* 個人会員 / 142

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っています。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 学生 1,000円 PNG人 1000円

会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

口座記号 / 番号 00140-2-277582

加入者名 / 日本・パプアニューギニア協会

問い合わせ先 / 日本・パプアニューギニア協会 事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段下1-6-17 千代田会館6階(ニューギニア航空日本支社内)  
電話: 03-5216-3555 FAX: 03-5216-3556 E-mail: info@air-niugini.co.jp